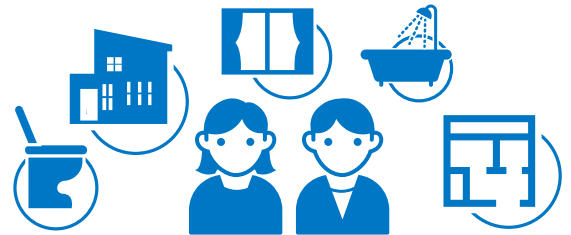


Q

住宅の新築を考えてますが、
間取りに家相も考えないと
いけないでしょうか？



A

家相の歴史は古く、そのルーツは約5千年前の中国にさかのぼります。日本でいう家相は、この中国で生まれた学問としての家相をベースに、儒教の影響を受けながら日本の気候風土や風習に合わせて発展してきました。長い歴史を通して、人を見つめ、自然を見つめ、暮らしを見つめてきたもの、それが家相といえます。これは、家相の教えの中に人が健康に暮らしていくための知恵、住みやすい家のための工夫、自然環境をむやみに破壊しないための知恵などが多くみられることから分かります。つまり家相とは、全くいわれのない迷信や俗信ではなく、長い歴史の中で培ってきた「人と自然が調和しながら快適に暮らしていくための環境学」ともいえるものなのです。

例えば、「寒い北の方位にトイレを作るのは凶」という教えがありますが、これは北風で冷え冷えとした寒いトイレで不意の災難をおこさないための知恵ともいえます。しかしながら、こうした先人たちの納得のいく教えも、気密性が高く冷暖房設備も充実している現代の家にはあてはまらなくなっています。

住環境を含めあらゆる環境が大きく変化している現代では、家相の判断も全てが正しいとはいえなくなっていますので、理想の家づくりのためには専門家へ相談することがおすすめです。

一級建築士・宅地建物取引士

ユーザーの夢をかなえる家づくりの提案、
ニーズを大事に。

「いい家とはどんな家だろう。家に対するこだわりはそれぞれ違うはず」。一級建築士の資格を持つ白仁田正広社長は常に問いかける。南欧風か、モダンな和風か。豪華な家に住みたいのか、コンパクトな家がほしいのか。白仁田社長の家づくりは「お客様のニーズを受け入れて夢をかなえるお手伝いを」という、熱い思いから生まれる。

(株)アルファ建築空間

鹿島市納富分2851-4

AM9:00~PM6:00

年中無休

<http://www.alpha-as.jp/>

☎0954-63-5517



一級建築士

白仁田 正広